

# 令和4年度 第2回関市立図書館協議会 会議録

日時 令和5年3月23日（木曜日）午前9時半～

場所 わかくさ・プラザ学習情報館 図書館多目的室

## ◆出席者

（図書館協議会委員）

樋口 緑、波多野壽美、平川貴久、櫻井純子、河合裕子、太田尚文、藤井和敏、可児翔也  
以上8名

※欠席者1名 鈴木幸子

（事務局）

中村宜信生涯学習課長、深川理代

（図書館）

長尾芳弘館長、亀山並枝館長補佐

## ◆傍聴者 なし

## ◇図書館リニューアル状況見学

## ◇開会

## ◇会長あいさつ

リニューアルした図書館を見学させていただきまして、皆さんいかがでしたでしょうか。私の第一印象として、以前より、より明るく、より広くなったなと思いました。もう一つは、それぞれのコーナーが目的に応じて適切に展開されているなと感じました。先日の中日新聞に図書館のリニューアルの記事が載っていました。その中の館長さんの言葉で、「利用者が使いやすい環境を整えた。末永く愛される図書館にしていきたい。」というものがありました。まさに利用者目線にたった図書館としてリニューアルされたなと感じますし、ハード面のベースは整ってきたなと思います。今後はソフト面でも充実した取り組みができるような創意工夫を期待しています。この会でより建設的な意見を交わすことで、様々な取組みを応援していきたいと思っておりますので、ぜひ積極的な意見をいただきたいと思っております。

## ◇図書館長あいさつ

この1年間を振り返ると、大きな二つの壁があって、一つはコロナ対策です。だいぶ緩和はし

てきましたが、図書館で感染という事態は避けなければいけないということで、オゾン消毒やアルコール消毒っていうものを欠かさずに、部屋や本などを殺菌しまして、1日も休館せずにやれたということは良かったと思います。もう一つの大きな壁がリニューアル工事でした。途中でいろいろ変更があったり、いろいろ話し合いを持ったりしながら、本当に良いものを作っていただきましたので、会長さんもおっしゃったように、いかにソフト面を今後充実していくかということを職員は頑張っていこうと思っています。この後、皆様からまたご意見をいただきまして、よりよい図書館になるように努力していきますのでどうぞよろしくお願い致します。

#### ◇生涯学習課長あいさつ

本日は図書館協議会にご出席いただきましてありがとうございます。先だってリニューアルの様子をご覧いただきました。工事期間は終わりましたが、検査が終わってなくて、27日に検査をして合格すれば、4月の下旬ぐらいの見込みで開館する運びでいます。5月のゴールデンウィークスペシャルはここを使ってイベントをしたり、活用をスタートしていきたいなと思っておりますので、皆様にもいろいろいろいろご意見をいただきながら、せっかく行ったりリニューアルを何とかいいものに生かしていきたいと思っておりますのでご協力をよろしくお願い致します。

#### ◇議題

- ・樋口会長による議事進行

① 令和4年度の図書館運営状況について

② 令和5年度図書館事業計画について

- ・館長より説明

#### ◇質疑応答

【委員】なぜ関市の電子図書館の利用率はほかの地域と比べてあがっているのか。

【事務局】やはり児童生徒にIDを渡したのが大きい。子どもたちは既に学校で電子書籍をタブレットで読む経験があったので電子書籍に慣れていた。その状態で子どもたちに電子図書館のIDを渡したので、すんなり電子図書館を利用することができたのではないかと。また大規模校では、児童の数が多くて、これまでは休み時間中に本の貸出が終わらない事があったそうだが、電子図書館ならそういった事がないので、利用が増えたのかもしれない。

【委員】利用者の年代の割合は分かるのか。

【事務局】8割ぐらいが子ども達の利用である。

【委員】市民の声を大切にしたりリニューアルで素晴らしい事だと思う。とても過ごしやすく、勉強もしやすいと思う。子どもたちがタブレットを持ち込んで利用することもできるのか。

【事務局】Wi-Fi環境もあるので、可能である。

【委員】リニューアルにお客さんの声を取り入れて、その結果、苦情が無くなったという事はリニューアルが成功したということだと思う。

【委員】電子図書館は一冊の本に人数制限などがあるのか。

【館長】本によって違うが、基本的には1冊一人しか読めない仕様になっている。著作権が切れている本や雑誌は何人でも読めるものもある。独自資料は閲覧自由だが、独自資料をアップするには著作権がクリアにならないとできないので、難しいものもある。

【委員】非常に使いやすい、快適な場所を作っていただいて大変有難い。これからはこの場所をどう活かしていくのか、市民側が問われていくことになると思う。

【委員】紙の本と電子図書館、用途や目的に沿ってどちらか適切な方を柔軟に選べるようになるとよいと思う。

【事務局】これからの読書は紙とデジタルのハイブリットで進んでいくと言われている。紙の本で五感を使って楽しむ読書も大切だし、今の子ども達は産まれたときから身近にデジタルがある環境で感覚的に電子書籍に慣れている。どのように使い分けるか、共存していくかがこれからの課題である。未就学児では、やはり紙の本で親と一緒に楽しむ読書を経験した上で、デジタルを経験していくのが望ましい読書経験ではないかと言われている。関市図書館ではどちらか一方だけではなく、両方の良さを活かした読書推進を今後考えていきたい。

【館長】多目的室は、読書サークルやボランティアの方たちにもたくさん利用して欲しいと思っている。そういった姿を一般の方たちに見ていただくことで、良いPRになると考えている。

#### ◇閉会（生涯学習課長あいさつ）

皆さん本日はごいろいろご意見いただきましてありがとうございます。会長から冒頭にソフト面のお話もいただきましたが、ハードの方もまだまだ課題はあるかと思っています。安全対策もそうですし、使っていただきながら出てくる課題もあろうかと思っています。電子図書についても、コンテンツを維持していく、または拡充していくための予算の問題もあります。これからも皆様のご意見をいろいろいただきながら、課題解決に向けて進めていきたいと思っておりますので今後ともどうぞよろしく申し上げます。